

NO	TD01	級	ウォーク中級
コース名	旧東海道を歩く (東京日本橋~京都三条大橋492km36日) 01東京駅赤レンガ駅舎から日本橋・品川宿・蒲田駅		
歩行距離16.72km	歩行時間4時間35分	休憩探勝80分	
予備時間20分	全行程6時間15分	最大標高差10m	

旧東海道を歩く

慶長6年(1601)から7年かけて徳川幕府により、江戸日本橋から五街道が整備された。①東海道②中山道③甲州街道④奥州街道⑤日光街道です。街道沿いに一里塚と宿場が置かれ、参勤交代の道として利用された。大名が宿泊する本陣・脇本陣・旅籠(宿)・茶屋本陣・立場(休憩所)・人馬の継立てをおこなう問屋場(といやば)が設置された。

歩行距離		
NO	距離 km	累積 km
01	16.72	16.72
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		

各旧街道の多くは明治以降国道に昇格し、現在では旧宿場周辺にはバイパスができた。時代の流れとともに、旧街道(旧国道)では静けさをとり戻し、地域の努力で史跡も復活し、昔の風情をしのぶことができます。役目を終えた旧街道筋では当時の遺構に触れて、ご当地博物館で歴史を紐解き、当時の生活文化に触れる旅です。

東京駅赤レンガ駅舎

1914年(大正3年)12月旅客駅として完成。近代日本の象徴といわれた丸の内側赤レンガ駅舎は第二次世界大戦で一部が焼失。2003年国の重要文化財指定。2012年10月に復元した。

日本橋

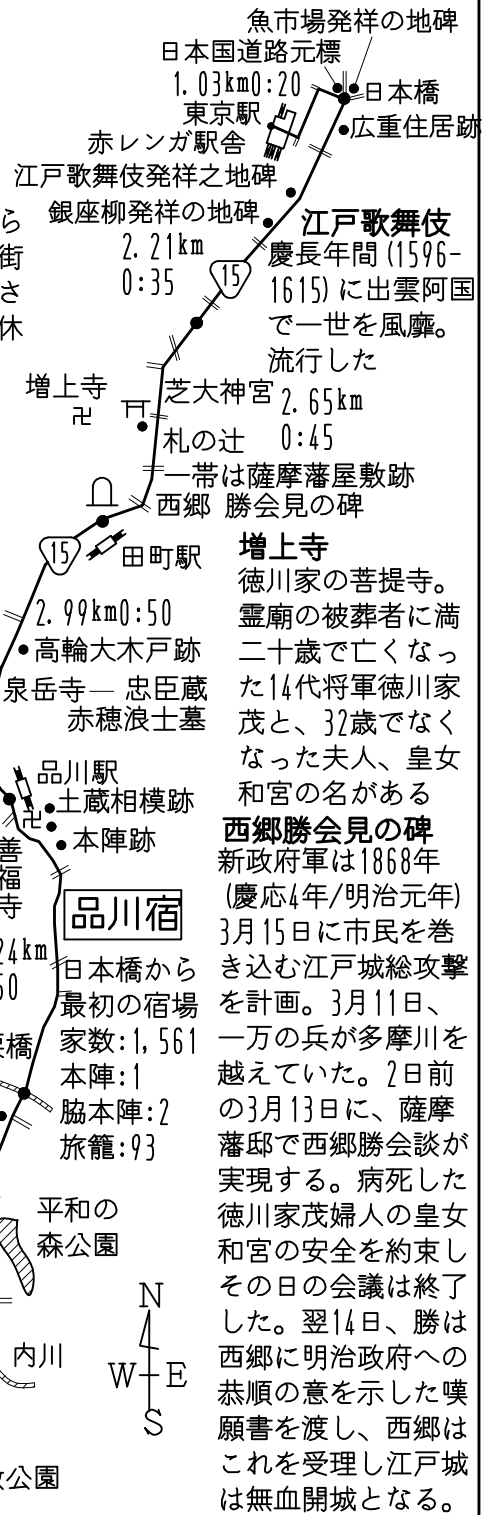
1603年徳川家康が初代の橋(木道)をかけた。日本国道路元標で日本の道路網の基点。現在の石造二連アーチ橋は1911年(明治44年)建設の19代目。1999年国の重要文化財に指定。

広重住居跡

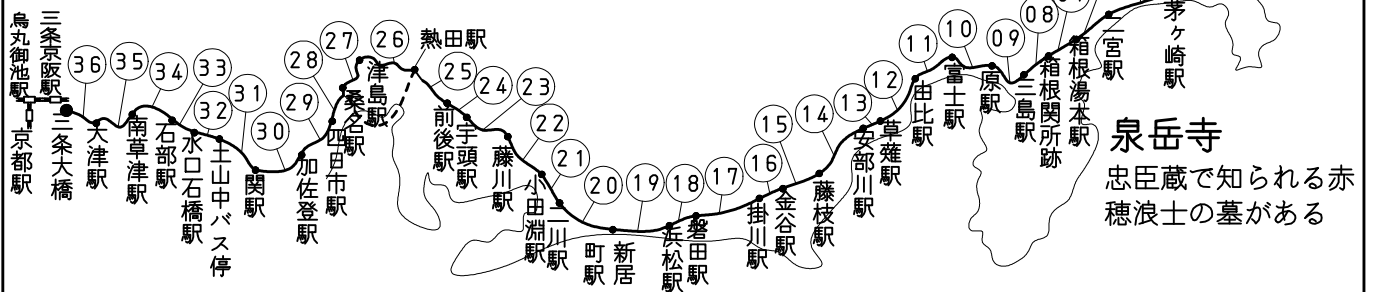
歌川広重。寛政9年(1797)~安政5年(1858)は浮世絵師。安藤広重といわれたが安藤は本姓、広重は号で組合せて呼ぶのは不適切。広重自身もそう名乗ったことがない。ゴッホやモネなどに影響を与えた世界的に著名な画家。15歳で歌川豊広に入門。翌年歌川広重の名が与えられた。1832年、公用で東海道をさかのぼり『東海道53次』を発表。風景画家としての名声は決定的といわれる。晩年には美人画も手がける。62歳で没。墓所は足立区伊興町の東岳寺。

涙橋と鈴ヶ森刑場跡

立会川にかかる浜川橋は別名涙橋。鈴ヶ森刑場に送られる罪人を見送る最後の場所。刑場には火あぶり柱の台石、首あらい井戸や供養のための碑があったと伝えられる。みせしめのため、人通りの多い街道沿いにおかれていたといわれる。



増上寺 徳川家の菩提寺。霊廟の被葬者に満二十歳で亡くなった14代将軍徳川家茂と、32歳でなくなった夫人、皇女和宮の名がある
西郷勝会見の碑 新政府軍は1868年(慶応4年/明治元年)3月15日に市民を巻き込む江戸城総攻撃を計画。3月11日、一万の兵が多摩川を越えていた。2日前の3月13日に、薩摩藩邸で西郷勝会談が実現する。病死した徳川家茂婦人の皇女和宮の安全を約束しその日の会議は終了した。翌14日、勝は西郷に明治政府への恭順の意を示した嘆願書を渡し、西郷はこれを受理し江戸城は無血開城となる。



泉岳寺 忠臣蔵で知られる赤穂浪士の墓がある